

夕張清水沢アートプロジェクト

～札幌ビエンナーレ・プレ企画地域連動アートプロジェクト～

日本経済の発展をエネルギー面から支えてきた北海道の炭鉱。なかでも夕張の石炭は、最高級の原料用炭として重宝された。30年前まで炭鉱が操業していた清水沢地区には、今でもズリ山や炭住が残り、そこに住む人々の間には炭鉱コミュニティが息づく。

100年にわたる炭鉱の歴史、その後の脱炭鉱の歩み、2006年の財政破綻など、光と陰の両極を経験した夕張。かつての記憶が薄れゆく中、空知各地の炭鉱電力の中核であった「旧北炭清水沢火力発電所」から、アートの力で炭鉱の記憶を掘り起こすメッセージを発信する。

■会期

9/17(土)～10/16(日)の土日祝日 13日間
(9/17、18、19、23、24、25、10/1、2、8、9、10、15、16)

■オープニングセレモニー 9/18(日) 14:00～15:30

会場：旧北炭清水沢発電所（メイン会場）
祭太郎（口上パフォーマンス）、茂呂剛伸（ジャンベ奏者）、
キック（コンテンポラリーダンサー）、武田芽衣（札幌チェロ奏者）

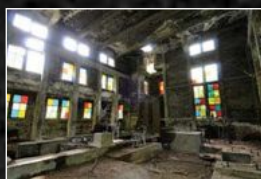
■駐車場

駐車場は清水沢清栄町旧いこの広場センターハウス南側
(国道452号を芦別方面へ走行し、清水沢健康会館前信号を右折)

■参加アーティスト

上遠野 敏 (アートディレクター)

1955年生まれ。札幌市立大学デザイン学部教授。2011年個展「ネ・申・イ・ム・光景」。



上遠野敏「陽光の聖堂」& ノメノン「不在の気配」/2009

【札幌市立大学学生】

堺 麻那

札幌市立大学大学院2年。

渡邊 俊介

札幌市立大学大学院1年。専攻は空間造形。札幌を中心にアート・建築分野で活動中。



渡邊 俊介「奥の小部屋へ」/2011

59RA9

2011年結成。札幌市立大学デザイン学部生3人の集団。

富田 歩

札幌市立大学デザイン学部3年生1人の集団。建築専攻。

札幌市立大学美術部 nou me non (ノメノン)

伊藤 里菜子 工藤 寛子 萩原 拓矢 カクレボン ノメノン2年

2007年結成。札幌市立大学デザイン学部生17人の美術集団。
地域とのコミュニケーションを大切に、美術制作やデザインを行っている。

【ゲストアーティスト】

端 聡

1960年北海道岩見沢市出身。札幌ビエンナーレ総監督、CAI現代芸術研究所代表、アートNPO法人S-AIR理事、北海道大学非常勤講師。

kensyo

札幌出身/在住。札幌を拠点に活躍する写真家。
2007年FIXMIXMAX!アワードにて優秀賞を受賞。

<注意>

※現在稼働中の施設につき、大型ダンプカーや重機・作業用車が場内を走行しています。作業の邪魔にならないよう、安全に留意して通行して下さい。

※セキモク（旧清水沢炭鉱事務所）の公開は土曜日のみです。

※展示会場は足場が壊れておりますので、動きやすい格好でお越しください。

■関連催事

【「石炭の道」ガイドツアー】 9/17(土)、10/15(土) 13:00～
北炭清水沢炭鉱の石炭産出ルートを元炭鉱マン吉田さんと辿るまち歩きツアー。

集合場所：駐車場

参加費用：500円

※旧清水沢炭鉱事務所（現・セキモク）～坑口～選炭工場跡～ズリ山は、会期中ツアー以外でも自由に見学できます（旧清水沢炭鉱事務所は土曜日15:00まで・日曜日見学不可）

【バスツアー「北炭送電線をたどる」】 10/8(土)

北炭電力所で送電線の保守を担当していた小西さんの案内による札幌発着バスツアー。滝上水力発電所・清水沢火力発電所・清水沢ダムを起点に、送電線が結んでいた万字・美流渡を経由して幌内変電所までを辿る。

【セミナー 健康はお口から～8020運動～】

9/25(日) 宮前集会所 14:00～15:00

【大夕張～追憶の汽笛～ 写真展】

9/17(土)～10/16(日)

場所：JR清水沢駅待合室（常設展）

清水沢駅は三菱大夕張鉄道の起点駅でもあった。大夕張鉄道・大夕張・南大夕張などの写真展。

写真提供：三菱大夕張鉄道保存会、beni



■関連展示

夕張清水沢アートプロジェクト札幌サテライト

9/17(土)～28(水) ※日祝休み

CAI02 札幌市中央区大通西5丁目 昭和ビル地下2階

夕張市宮前浴場

内風呂がない鉱員住宅が中心だった宮前町には、北炭が40年前に設置した炭住浴場が現在も市営浴場としてあり、地域の方々に憩いの場として親しまれています。

一般利用可能、料金420円

月～土 15:30～20:00（日曜休み）

■NPO法人 炭鉱の記憶推進事業団

地域固有の宝である「炭鉱の記憶」を手がかりに、空知産炭地域の活性化を目指して活動しています。空知の各地で、地域の外と中の人たちの交流を仲介することによって、新しい動きを生み出しています。

■清水沢連絡員詰所

炭鉱住宅として建築された現在の市営住宅を特別にお借りし、インフォメーションセンターと地域との交流窓口機能を持つ現地拠点「清水沢連絡員詰所」を開設しています。（見学可・要連絡）
夕張市清水沢宮前町16 宮コ48-1（本間ストア斜め向かい）
090-1305-1396（小西）090-6212-2822（佐藤）

■お問い合わせ

そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター 0126-24-9901

岩見沢市1条西4丁目3 10:00～18:00（火曜休）

<http://www.mc.soratan.com/>